

校長室だより

No. 29

平成28年11月25日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよし かず  
加藤嘉一

地域の皆さんに授業のお助けをしてもらって

—体験と専門家の力が教育を豊かにする—

【A先生の記録より】

今週は子どもたちが楽しみにしていた、生活科の町探検がありました。たくさんの方の御協力をいただき、無事に終えることができました。今後、学習したことを生かして3学期の授業参観で発表できるようにまとめていきたいと思います。 —略—

【B先生の記録より】

町たんけん…天候にも恵まれ、町探検を無事に実施することができた。子供たちは、本当に楽しみにしていたようで、朝からやる気にあふれていた。自分たちで頑張ろうという気持ちをもって活動できたことはとてもよかった。また、探検の実施にあたりちゅらぼの方々、訪問先の方に御協力いただき、たいへんありがたかった。再度、自分たちだけの力で探検できたのではなく、多くの方々の協力があったからこそしっかり勉強できたことを伝えたい。

各学年の授業で、活発に体験・調査・専門知識を持つ講師の授業が展開されています。ここ2週間ほど、子供達が校外に出かけたり、講師の方々毎日のように来てくださったりしています。本当にありがたいです。上記の記録は、生活科「町たんけん」(①地域の知らない方面にある施設やお店はどんなところなのか特色を調べる、②地図を元に自分の力で訪問することができる、③あいさつやお礼、質問など基本的なことができる、④安全に気をつけてグループ活動ができる、などの力をつけることをねらいにした学習)を実施した2年生の先生方の記録です。



【2年生活科・町たんけん】

下線に見られるように、子供たちはこうした学びが大好きですし、この活動を実施するうえで、たくさんの方にお世話になりました。わたしも3箇所お礼の御挨拶に回りました。

(全ての所に行けず申し訳ありません)訪問先のどのお店・施設の方も、子供たちのために時間を割き、本当にこころよくお相手してくださっていました。ちゅらぼの方々も、子供の

後ろに回り、手を出しすぎず、自分たちで活動できるように、非常に思慮深い付き添いの仕方をしてくださいました。感謝の気持ちでいっぱいです。

昨年の学校診断アンケートで、「地域学習が多いが大丈夫か」という御心配の声を一部いただきました。この御心配は、総合・社会科・生活科の学習で地域

へ出かける時間が多くないかという御心配だと想像します。本校は、教科の基礎・基本の習得や活用力の育成など、バランスのよい学力を身につけさせる取り組みも充実を図っています。一方で、十数年前から、座学だけでは発展・活用する力を十分に伸ばすことができないという反省のもと、総合的な学習が新設され、総合的な学習のみならず、今回紹介しているような学習が、全国で展開されるようになってきていることも御承知いただきたいと思います。特に、学力調査で、総合的な学習に力を入れている学校は、活用問題の正答率が高いという結果が出ています。教師1人の力ではできない、ダイナミックな学びが今後も展開され、子供の将来に生きる力が育つことを願っています。



【3年社会・イチゴ農家調べ】



【4年総合・アイン環境教育】



【6年総合・消防防震車体験】



【5年国語・俳句の会】



【1年生活科・家族交流焼き芋会】

### この木 なんの木 気になる木 一木の名称調査

今年、わたしたちは社会や理科、総合的な学習で利用できる郷土読本「なのはな」の改訂作業に取り組んでいます。いわば子供たちの教科書づくりのようなものです。この「なのはな」は、10年以上前に作られた本で、この地域のくらしや産業、施設のことなどが、小学生にわかりやすくまとめられており、大変優れた本です。この本を作成した当時の先生方に敬服します。

この「なのはな」の中に、校内にある木の名前が書かれた地図があります。しかし10年以上前のものですから、すでにない木が載っていることがわかりました。とてもわたしたちでは木の名前が判別できません。そこで、専門家(柴田造園さん)にお願いし、校内の全ての木に名前を記してもらいました。現在、巻いた布テープの上に油性マジックで名前が書かれています。興味のある人は、どうぞ御覧ください。「なのはな」の地図に反映させるだけでなく、緑化委員の子たちと何かできればよいと考えています。表示を大切にしたいと思います。



先週号 No.28 の日付 11月11日は、11月18日の誤りでした。訂正致します。